



ロータリー:  
変化をもたらす

2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

## ロータリー: 変化をもたらす

●会長 白木 誠一  
●幹事 古田 哲朗

No.1602 平成 30 年 02 月 14 日 第 29 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

### ■点鐘

### ■国歌斉唱

### ■ロータリーソング「我等の生業」



### ■来訪者紹介 (会長 白木誠一)

熊本 RC 立石和裕 君  
熊本東 RC 與繩 董 君  
熊本城東 RC 建部明 君、北御門明 君、工藤博 君  
米山奨学生 翁力棟 君

### ■会長の時間 (会長 白木誠一)



ガバナー月信の紹介

1905年2月23日(カ)での創立を記念して、2月は「平和と紛争予防/紛争解決月間」となっています。  
ロータリーは国際理解と平和を推進するために海外の「ロータリーと友好を築き様々な奉仕活動プロジェクトを行う事も紛争予防の一步かもしれません。

例えば、重点分野「水と衛生」では、綺麗な水を常時提供することにより、公衆衛生的な観点から「疾病の予防」に繋がります。また、教育を受ける機会が増えれば、正しい衛生習慣を学ぶ事ができ、そうすれば「母子の健康」も改善され、さらには「識字率の向上」が期待でき、就業率が上がり「経済・地域社会の発展」が期待できます。

以上の事が毎月の月間テーマになって、皆さんのクラブはその目標へ向かっています。  
こうした状況が紛争を話し合いで解決できる糸口になる可能性があります。  
もちろん、そう簡単に平和構築ができるとは思っていませんがロータリー・ロータリアンができることを地道に考え行動を起こすことは、「千里の道も一歩から」の例えのように、少しずつ歩みを進めていくことこそ大切なことではないかと思います。

世界的に有名な元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は 1951 年にロータリー国際親善奨学生でした。彼女は後にこう語っています。

「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、様々な経験ができました。また、『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となりました。」

当時はまだ平和フェローという奨学制度がなかったのですが、国際紛争の予防・解決に大きな力を振るわれた先達の 1 人であることは間違いありません。

こういった活動は 2002 年のロータリー平和センターの設立から大きな動きとなり、平和センターの学生を平和フェローと呼ぶようになりました。今では 1000 人近くの平和フェローが国際紛争の予防/解決に全世界で働いています。(詳しくは「ロータリー平和フェローシップ」の HP をご覧ください。)

それでも依然として平和フェローのニーズは増加しています。今年度ロータリー財団奨学生の松本冨未さん(ケンブリッジ大学へ留学)は紛争学を勉強し、将来は国連への就職を希望されており平和フェローへの希望も持っています。

また、別府ローターアクトクラブ所属だった渡邊彩香さんも将来は平和フェローを目指していると聞いています。

台湾の板橋南區扶輪社への花蓮の地震に対する義援金の話



### ■幹事報告 (幹事 古田哲朗)

1)  
永田壯一 ガバナー、坂口滋一 米山記念奨学会部門長より、米山奨学生修了式・カウンセラー感謝状贈呈式・祝宴のお知らせ。

熊本会場 日時: 3月3日(土)

受付 10:30 修了式・贈呈式 11:00～祝宴 12:30～  
場所: ホテル熊本テルサ TEL: 096-387-7777

2)  
第 8 回定例理事会報告。

今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2018年 3月10日(土)・11日(日)	会長エレクト研修セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	白石繁
3月16日(金)・17日(土)	地区大会	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル・熊本市民会館	案内中(2/5締め切り)
3月31日(土)	熊本城東RC創立30周年記念式典	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	全員登録
4月8日(日)	地区研修・協議会	大分県大分市	ホルトホール大分	新着

■委員会報告

(熊本城東RCより創立30周年記念式典の案内)

建部 明 創立30周年実行委員長  
北御門明 パスト会長  
工藤 博 パスト会長



日時 平成30年3月31日 15:00~19:00  
場所 熊本ホテルキャッスル

■委員会報告

(クラブ管理運営委員長 内田信行)

慈愛園への自転車寄贈支援の件が2月10日(土)の熊日新聞に掲載されました。



熊日新聞 2月10日掲載



■委員会報告

(職業奉仕担当委員 宮川義行)

職場訪問の件  
(2月28日、扇田環境センター)



■出席報告

(出席・プログラム担当委員 河岸彦治)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
01月31日	44 (免3) 41	29	3	32	78.05
02月04日	44 (免3) 41	29			70.73

出席免除

01月31日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男  
02月14日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男

欠席者(9名)

01月31日 内田敏視 山本浩之 山坂哲生  
西村陽介 潮谷愛一 益田敬二郎  
堤 勝也 小松野正彦 岡本千代門

今度の100%出席の日は 02月28日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 横山佳之)



◎建部明、北御門明、工藤博(熊本城東RC) 3,000円  
親クラブの熊本東南ロータリークラブの皆様、熊本城東ロータリークラブから創立30周年記念式典のご案内に参りました。どうか宜しくお願い致します。

◎白木誠一 10,000円

熊本城東ロータリークラブの建部会員、北御門会員、工藤会員、お疲れ様です。30周年事業をがんばって下さい。

◎宮川義行 5,000円

とにかく寒い1週間でした。皆様、大丈夫でしたか?徐々に寒さもゆるんでいくと思います。何とかこの冬ものりこえられそうです。熊本東南ロータリー頑張っていきましょう。熊本城東RC北御門様、工藤様、建部様、熊本RC立石様、熊本東RC與繩様、本日はご来訪ありがとうございます。

◎松本繁 2,000円

本日の例会は多数のご来訪もあり満席となり大盛会です。ご来訪の皆様を心より歓迎しスマイル致します。

## ■卓話

(ロータリー情報担当 鈴木義親)



### ロータリー情報委員会卓話

#### 1. ロータリークラブの多様化に伴う我がクラブの現状、取り組みについて。

- (1) 一業種一会員制
- (2) 毎週一回の例会出席
- (3) 毎年度交代制
- (4) 機能分担としての業務
- (5) 毎年会費納付 (全会員同額)

## ■点鐘

編集者 村瀬直久

### ロータリー創立記念日 (Anniversary of Rotary)

「世界理解と平和週間(2月23日～3月1日)」(World Understanding and Peace Week)

1905年2月23日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日です。この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」(World Understanding and Peace Day)として遵守されます。この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。理事会は、この2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しています。

### 平和の推進

毎年、紛争と暴力によって数百万人が家を失い、故郷を追われています。紛争で命を落とす人の90%が罪なき一般市民であり、その半分が子どもです。

このような状況を、私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

こんな活動をしています

奉仕プロジェクト、平和フェロシップ、奨学金などさまざまな形で、紛争の根底にある諸問題（貧困、不平等、民族間の緊張、教育機会の欠如、資源の不平等など）に取り組んでいます。



紛争地域の子どもたちとボランティア



平和フェロシップの参加者



平和のエンバフメント

紛争地域の子供たちを支援するために、ロータリーは、毎年200以上の奉仕プロジェクトを通じて、紛争地域の子供たちに支援を提供しています。

フィリピンでは、ロータリーが、平和フェロシップを通じて、紛争地域の子供たちに支援を提供しています。

ロータリーは、平和フェロシップを通じて、紛争地域の子供たちに支援を提供しています。

### ロータリーによる活動の例：

生活の質の改善。衣食代、家賃、光熱費、医療費などを払うことのできない家族を支援するために、ロータリー会員が「People for People 財団」を設立しました。

いじめ認識向上。フィリピンのローターアクトクラブが学校で「いじめ反対」キャンペーンを実施。仲違いやけんかを穏やかに解決する方法を生徒たちに指導しました。

家庭内暴力の犠牲者とその家族を守る。ルイジアナ州は、家庭内暴力による死亡が米国内で4番目に多い州です。地元ロータリークラブ会員は、シェルターに食料や医療を寄贈しているほか、年に500人以上の女性に法律相談やコンサルティングを無料で提供しています。

世界各地のロータリー平和センターで学ぶために毎年授与される平和フェロシップの数

100口

武力紛争または迫害によって現在故郷を追われた人

6500万人

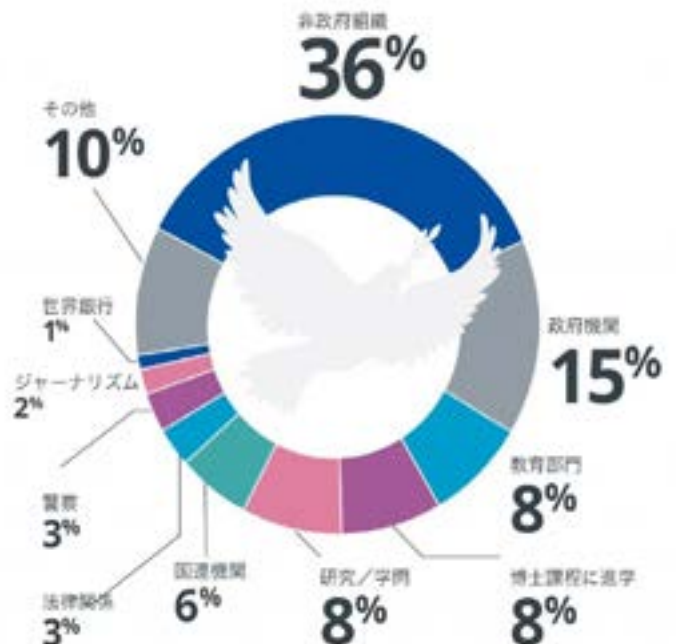
平和推進の支援のためにロータリーが集めた寄付

\$1.42億

ロータリー平和センタープログラムのこれまでの卒業生数

>1000人

### ロータリー平和センター卒業生の進路





## 平和フェローシップ

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ（奨学金）を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。毎年、世界中から選ばれる最高 100 人のフェローが、ロータリー平和センター提携大学で学びます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費（宿舍・食費）、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用が含まれます。

創設から 10 年あまり、ロータリー平和センターは、平和構築の分野のキャリアを志す 1,000 人以上の人材を輩出してきました。その多くは、国連や世界銀行といった国際機関や草の根の NGO でリーダーシップを発揮し、より平和な世界を築くために活躍しています。

元フェローが活動する地域を[ロータリー平和マップ](#)でご覧ください。

## ロータリーのフェローシップ

毎年、[ロータリー財団](#)は、世界各地の名門大学で修士号（年に最高 50 人）または専門能力開発修了証（年に最高 50 人）を取得するためのフェローシップ（奨学金）が授与しています。

- ・修士号取得プログラム：15 ～ 24 カ月。学期間の休みに 2 ～ 3 カ月の実地研修（インターンシップ）を行うことが義務づけられています。
- ・専門能力開発修了証プログラム：3 カ月間（2 ～ 3 週間の実習を含む）。既に職歴のある専門職業人が対象。

## 平和フェローシップの申請資格

平和フェローシップの申請者は、以下の要件を満たしている必要があります。

- ・優れた英語力。第二言語能力（日本語を含む）をもつことが推奨される
- ・国際理解と平和への熱意を実証
- ・優れたリーダーシップ
- ・修士号取得プログラム：関連分野における少なくとも 3 年間のフルタイムの職歴またはボランティア経験。学士号
- ・専門能力開発修了証プログラム：関連分野における少なくとも 5 年間のフルタイムの職歴またはボランティアの経験。優れた学問上の実績

## ロータリー平和センター

デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国、ノースカロライナ州）

デューク大学では国際開発政策の修士課程、ノースカロライナ大学チャペルヒル校では国際平和と紛争解決の卒業証書コースが提供されています。

国際基督教大学（日本、東京）

公共政策・社会研究専攻科では、社会科学の研究とともに、新し

い分野を含む学際的な研究が行われています。

（チュラロンコン大学の平和センターで学ぶタイ出身の候補者を除き、フェローシップの受給者は母国のロータリー平和センターで学ぶことはできません。）

ブラッドフォード大学（英国、ブラッドフォード）

同大学の平和研究学部は世界最大を誇り、複数の修士号プログラムを提供しています。

クイーンズランド大学（オーストラリア、ブリズベン）

平和フェローは、国際研究、平和、紛争解決分野の修士号取得をめざします。

ウプサラ大学（スウェーデン、ウプサラ）

同大学の平和・紛争研究学部では、社会科学の修士号を取得できます。同学部は、全世界で無償利用できる紛争関連のデータ収集プログラムで知られています。

チュラロンコン大学（タイ、バンコク）

3 カ月の集中研究プログラムを提供しており、フェローは平和分野の専門能力開発修了証の取得をめざします。

## [ロータリー平和センターの Facebook ページ](#)

